

かながわの 交通

2017 2月号

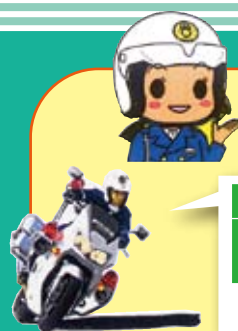
交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)
こども部門:小・中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

ここにいる 車に伝える 反射材



湯河原梅林

(足柄下郡湯河原町)



二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール(SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング(GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。
問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで

二輪車事故
多発!!

◎県内の交通事故発生概況(平成29年1月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成29年		2,156	9	2,549
平成28年		2,160	14	2,590
増減数		-4	-5	-41
増減率		-0.2	-35.7	-1.6

	総数	男	女
県人口	9,147,400	4,566,154	4,581,246
免許人口	5,612,358	3,228,172	2,384,186
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成29年1月1日、免許人口は平成28年12月末現在)

神奈川県内の交通事故発生状況と死亡事故の特徴(平成28年中)

●交通事故発生状況

区 分	全 交 通 事 故	増 減 数	増 減 率
発生件数	27,093件	-1,220件	-4.3%
死 者 数	140人	-38人	-21.3%
負傷者数	32,267人	-1,506人	-4.5%

※増減数(率)は前年対比です。

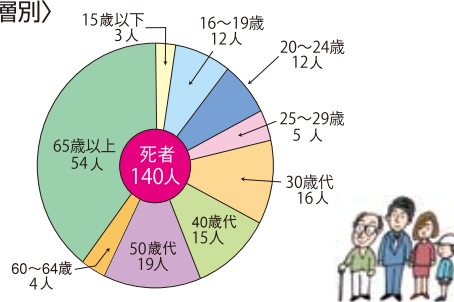
●交通死亡事故の特徴

- 年齢層別では、高齢者(65歳以上)が最も多く、54人で約38.6%、前年比-16人と減少
- 状態別では、二輪車乗車中が最も多く、51人で約36.4%、+1人と増加
- 年齢層別・状態別では、高齢者(65歳以上)の歩行中が最も多く、24人で約17.1%
- 地域別では、横浜市が最も多く、49人で約40.4%、前年比-23人と減少
- 悪質・危険運転違反(飲酒7人-5人、最高速度4人-11人、無免許3人-2人)事故が減少

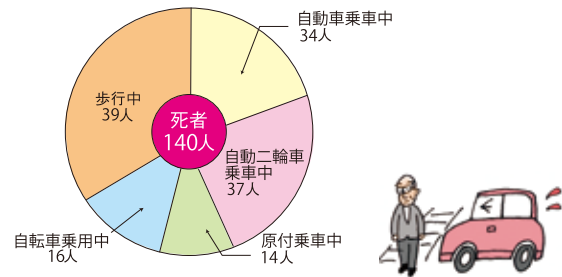
- 発生件数~16年連続減少、平成で最少
- 死者数~2年連続減少、統計の残る昭和23年以降最少
- 負傷者数~16年連続減少、平成で最少



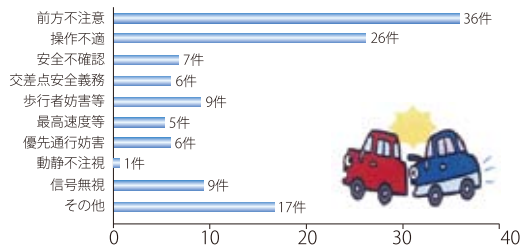
〈年齢層別〉



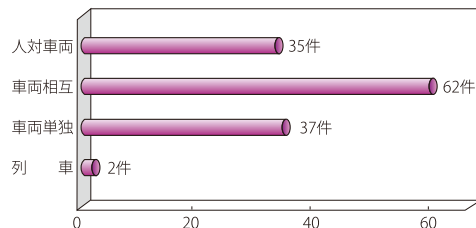
〈状態別〉



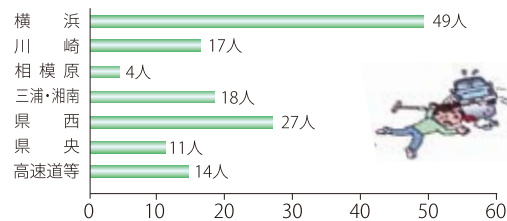
〈原因別〉(第一当事者原付以上運転者)



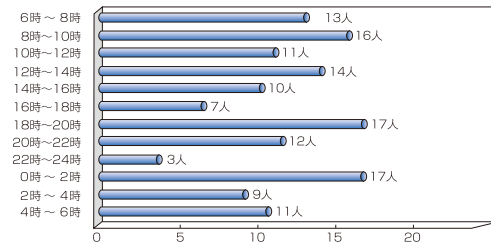
〈事故類型別〉



〈地域別〉



〈時間帯別〉



★主要都道府県別交通事故死者数(平成28年中)

順 位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	全 国
都道府県	愛 知	千 葉	大 阪	東 京	北 海 道	兵 庫	埼 玉	茨 城	福 岡	神 奈 川	静 岡	
死 者 数	212	185	161	159	158	152	151	150	143	140	137	3,904
前年比	-1	+5	-35	-2	-19	-19	-26	+10	-9	-38	-16	-213

過去最少

県内の交通事故死者数
●平成29年1月中
.....9人

警察署別交通事故発生状況
(平成28年中)

区分 署別	件 数				死 者 数				負 傷 者 数			
	28年	27年	増減数	増減率	28年	27年	増減数	増減率	28年	27年	増減数	増減率
加賀町	153	189	-36	-19.0	1	3	-2	-66.7	175	220	-45	-20.5
山手	173	185	-12	-6.5	4	1	+3	+300.0	191	217	-26	-12.0
磯子	345	365	-20	-5.5	4	4	±0	±0.0	409	420	-11	-2.6
金沢	469	535	-66	-12.3	1	4	-3	-75.0	545	616	-71	-11.5
南	513	486	+27	+5.6	7	1	+6	+600.0	567	543	+24	+4.4
伊勢佐木	272	256	+16	+6.3	1	1	±0	±0.0	324	302	+22	+7.3
戸部	446	422	+24	+5.7	0	1	-1	-100.0	519	515	+4	+0.8
神奈川	592	611	-19	-3.1	2	8	-6	-75.0	691	731	-40	-5.5
鶴見	608	569	+39	+6.9	4	3	+1	+33.3	716	649	+67	+10.3
保土ヶ谷	567	602	-35	-5.8	3	4	-1	-25.0	659	700	-41	-5.9
旭	672	765	-93	-12.2	3	0	+3	***	746	870	-124	-14.3
港南	515	534	-19	-3.6	3	5	-2	-40.0	603	615	-12	-2.0
港北	841	796	+45	+5.7	1	8	-7	-87.5	1,001	914	+87	+9.5
緑	477	443	+34	+7.7	1	3	-2	-66.7	580	515	+65	+12.6
青葉	839	784	+55	+7.0	5	9	-4	-44.4	1,004	918	+86	+9.4
都筑	644	711	-67	-9.4	1	4	-3	-75.0	766	847	-81	-9.6
戸塚	822	986	-164	-16.6	1	7	-6	-85.7	976	1,194	-218	-18.3
栄	217	224	-7	-3.1	2	2	±0	±0.0	234	258	-24	-9.3
泉	401	422	-21	-5.0	2	3	-1	-33.3	477	483	-6	-1.2
瀬谷	494	494	±0	±0.0	3	1	+2	+200.0	583	582	+1	+0.2
横浜水上	21	18	+3	+16.7	0	0	±0	***	36	23	+13	+56.5
川崎	403	413	-10	-2.4	4	5	-1	-20.0	462	491	-29	-5.9
川崎臨港	229	266	-37	-13.9	1	2	-1	-50.0	265	301	-36	-12.0
幸	423	453	-30	-6.6	1	2	-1	-50.0	494	534	-40	-7.5
中原	320	373	-53	-14.2	2	3	-1	-33.3	352	423	-71	-16.8
高津	491	503	-12	-2.4	4	3	+1	+33.3	571	589	-18	-3.1
宮前	474	455	+19	+4.2	2	3	-1	-33.3	542	530	+12	+2.3
多摩	514	547	-33	-6.0	2	2	±0	±0.0	588	633	-45	-7.1
麻生	364	318	+46	+14.5	1	0	+1	***	406	366	+40	+10.9
横須賀	750	818	-68	-8.3	4	7	-3	-42.9	896	984	-88	-8.9
田浦	112	144	-32	-22.2	0	0	±0	***	128	169	-41	-24.3
浦賀	422	559	-137	-24.5	6	2	+4	+200.0	504	706	-202	-28.6
三崎	140	148	-8	-5.4	1	1	±0	±0.0	180	171	+9	+5.3
葉山	104	101	+3	+3.0	0	2	-2	-100.0	125	136	-11	-8.1
逗子	197	175	+22	+12.6	1	0	+1	***	234	216	+18	+8.3
鎌倉	402	393	+9	+2.3	0	2	-2	-100.0	490	481	+9	+1.9
大船	182	186	-4	-2.2	1	1	±0	±0.0	212	207	+5	+2.4
藤沢	692	738	-46	-6.2	2	2	±0	±0.0	832	856	-24	-2.8
藤沢北	601	705	-104	-14.8	2	4	-2	-50.0	711	813	-102	-12.5
茅ヶ崎	676	697	-21	-3.0	1	3	-2	-66.7	772	853	-81	-9.5
平塚	1,060	1,078	-18	-1.7	9	2	+7	+350.0	1,262	1,279	-17	-1.3
大磯	162	172	-10	-5.8	1	2	-1	-50.0	184	214	-30	-14.0
小田原	950	1,008	-58	-5.8	8	9	-1	-11.1	1,187	1,233	-46	-3.7
松田	377	330	+47	+14.2	4	3	+1	+33.3	487	418	+69	+16.5
秦野	406	393	+13	+3.3	3	3	±0	±0.0	485	460	+25	+5.4
伊勢原	296	354	-58	-16.4	2	0	+2	***	345	428	-83	-19.4
厚木	1,082	1,139	-57	-5.0	7	4	+3	+75.0	1,320	1,381	-61	-4.4
大和	1,066	1,076	-10	-0.9	1	7	-6	-85.7	1,240	1,265	-25	-2.0
座間	423	426	-3	-0.7	2	0	+2	***	499	502	-3	-0.6
海老名	381	486	-105	-21.6	1	3	-2	-66.7	462	569	-107	-18.8
相模原	1,185	1,172	+13	+1.1	3	6	-3	-50.0	1,363	1,382	-19	-1.4
相模原南	840	954	-114	-11.9	0	4	-4	-100.0	961	1,119	-158	-14.1
相模原北	398	423	-25	-5.9	1	0	+1	***	463	501	-38	-7.6
津久井	215	238	-23	-9.7	0	1	-1	-100.0	277	286	-9	-3.1
二交機	36	35	+1	+2.9	1	3	-2	-66.7	71	58	+13	+22.4
高速隊	637	640	-3	-0.5	13	15	-2	-13.3	1,133	1,087	+46	+4.2
合 計	27,091	28,313	-1,222	-4.3	140	178	-38	-21.3	32,305	33,773	-1,468	-4.3

備考 増減率欄の「***」は、前年数値「0」を示す。

第57回交通安全国民運動中央大会で表彰

去る1月20日、都内文京シビックホールで開催されました第57回交通安全国民運動中央大会において、優良交通安全協会として神奈川県から(一財)港北交通安全協会と秦野市交通安全協会が表彰されましたので、ご紹介します。

(一財)港北交通安全協会

〔沿革等〕

昭和42年に港北区の誕生とともに、港北警察署が設立され、その署内に協会事務所を構え、翌年その隣地に事務所を新築、移転しましたが、平成21年に法人格を取得して、平成22年4月警察署の移転に合わせてその隣に事務所を設立しています。

港北区は、横浜市内で人口が一番多く、34万人を超えています。区内を第三京浜道路や環状2号線の幹線道路が走り、JR新横浜駅には新幹線や横浜線が乗り入れ、市営地下鉄、東急東横線などの鉄道網が発達しています。現在は、商業地、住宅地として発展し、慶応大学日吉キャンパスのほか日産スタジアム、横浜アリーナなどの大型スポーツ施設があり、サッカーや各種ショーなどイベント開催時には多くの観客が訪れるため、新横浜駅は混雑し、会場までの道路は人が溢れます。

〔組織と活動〕

嶋村会長以下、副会長等の役員5名、各支部長10名が評議員として活動し、事務局は、事務長以下4名の職員がフルタイムで従事しています。

昨年の交通事故情勢は、一昨年、発生件数、負傷者数が大幅に減少したため、微増しましたが、死者数は大幅に減少させることができました。

この成果は、警察署のご指導をはじめ関係団体の協力の賜物ですが、協会としては、春の「小机城址まつり」に参加して行う交通安全キャンペーンや秋の「横浜梨」の収穫時期にその梨を配布しながら行う「事故なし」キャンペーン、年末の交通事故防止運動では新横浜駅、日吉駅、菊名駅などで有名タレントを招いて区民に飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践など交通事故防止を呼びかけたりしたこと、特に交通指導員を主体とした「交通安全日」の見守り活動など地道な街頭活動が実を結んだものと自負しています。

また、昨年は母の会の活動を活発化するため、区内の小・中学校に呼びかけてその保護者等多くの賛同者を集めて体制を立て直し、組織を確立して区の交通安全大会で披露、活躍の道を開きました。

高齢者事故は減少傾向を見せる中、運転免許の自主返納は増加傾向にありますので、今後は、さらに運転の必要のない高齢運転者などに呼び掛けて促進していくとともに、交差点などでの自転車事故が増加していますので、スクエアドストリートや自転車教室を開催するなど交通ルールの遵守やマナー向上のほか自転車運転者講習制度についても分かり易く周知してまいりたいと考えています。

このたびは「第57回交通安全国民運動中央大会」で優良団体として受賞の栄に浴し、大変名誉なことと感激しましたが、紙面をお借りしまして改めて警察署、交通安全対策協議会、関係機関団体の方々に感謝を申し上げる次第であります。

【(一財)港北交通安全協会・高橋 記】

秦野市交通安全協会

〔沿革等〕

秦野市交通安全協会は、昭和23年3月に発足していますが、平成17年4月秦野警察署の新築・移転に合わせて、警察署の隣に鉄筋3階建ての事務所を新築しました。

事務所の前を東西に国道246号の主要幹線道路が走り、東西の物流の大動脈である東名高速道路と小田急線がほぼ並行しています。秦野市の中心部は秦野盆地となっており、東、北、西の三方を大山、塔ノ岳、鍋割山などの丹沢山系の山々が囲み、塔ノ岳を源として水無川が流れ、名水の里、落花生の産地としても有名で、海洋気象の影響を受け、冬季でも降雪が少なく、比較的温暖な地域です。

〔組織と活動〕

秦野市交通安全協会は、中田会長を筆頭に、副会長3人、理事20人、6支部の支部長などの役員、会員で組織され、事務長と4人の事務職員が交替制で事務局を支えています。

昨年の交通事故情勢は、発生件数、負傷者数は横ばいでしたが、「交通死亡事故ゼロ398日」を達成するなど相当の成果を上げることができました。警察署のご指導はじめ、市、その他関係団体の方々のご尽力の賜物ですが、安全協会としても会長以下交通指導員などが中心となって各季の交通安全運動などに積極的に取り組んできた結果と確信しています。新年早々このような栄誉ある賞をいただき、大変嬉しく思っています。

当協会の主な交通安全活動としては、昨年は荒天によりオープニングパレードこそ中止になりましたが、市内最大のお祭り「たばこ祭り」や、秋の「市民の日」にちなんで行われる交通安全イベントでは、市のイメージキャラクター「丹沢はだの三兄弟」の交通安全のぼり旗を製作・活用し、交通安全教室などを開催して市民に交通安全を呼びかけています。

特に自転車事故防止対策としては、幼児から高齢者まで対象にしていますが、中でも将来を担う「こどもの事故防止」に重点を置き、小学3年生に対する自転車教室では、交通指導員が中心となって指導力を発揮しています。

また、自転車大会への取組は、昭和55年から市としても自転車大会を開催した経緯があり、現在もそれを受け継いで県大会へ参加するため、会場セットから実技指導まで退任した交通指導員を会長が指導員に任命するなど指導体制を充実させて、単に競技に参加するだけに終わらせることなく、訓練を通じて交通ルールの習得とマナーの向上にも主眼を置いて交通安全意識の高揚を図っています。

今後も、この受賞を励みとしてより一層地域の交通安全に貢献し、安全で安心な秦野市の街づくりに少しでも貢献してまいりたいと思います。

【秦野市交通安全協会・菅家 記】





エリアゼロ対策の実施

《神奈川県警察》

神奈川県警察では交通死亡事故抑止対策として、昨年、交通死亡事故が多発傾向にあった毎月末に「月末6日間対策(9月を除く66日間)」,更には地域的に多発した横浜市内各警察署管轄地域を対象に「**横浜エリアゼロ対策**」を実施した結果、昨年の交通事故死者数は過去最少を記録しました。

本年はこれに加えて、昨年、交通死亡事故が多発した県西地区(平塚、大磯、小田原、松田、秦野、伊勢原の各警察署管内)を対象に「**県西エリアゼロ対策**」として

○ 交通指導取締り、街角アドバイス、レッド警戒を強化するとともに、各警察署と

- 横浜エリア ～ 第一交通機動隊
- 県西エリア ～ 第二交通機動隊

が連携して集中指導取締りを行うほか、各自治体や交通関係団体とも連携して各エリアゼロ対策を周知するための広報啓発活動を推進することとしています。(※本年の「月末6日間対策」は、4月、7月、9月、12月を除く48日間)



平成29年賀詞交歓会

《公益財団法人神奈川県交通安全協会》

1月26日(木)

ロイヤルホールヨコハマにおいて、新春賀詞交歓会を開催しました。

はじめに主催

者を代表して

県協会岡副会

長の挨拶、続い

て来賓として黒

岩神奈川県知事と

島根県警察本部長

から祝辞をいただいた後、去る1月20

日東京都文京シビックホールで開催さ

れた交通安全国民運動中央大会で交通

栄章章緑十字金章(7名中6名出席)、

同緑十字銀章(31名中18名出席)を受

賞された方々に記念品を贈呈しました。

その後、県警察本部小田交通部長の

乾杯挨拶で開宴し、受賞者の栄誉を

讃えらるとともに、昨年の交通情勢、特に

交通事故死者数が140人で過去最

少で、「第10次神奈川県交通安全計画」

の目標を達成したことや「免許証の自

主返納」などについて各団体の方々同士

が意見交換を行って和やかに懇親を深

め、本年もより一層、連携を強化して交

通安全に取り組むことを誓いました。



神奈川県交通安全対策協議会総会

1月27日(金)、横浜市中区の横浜情報文化センターにおいて、「神奈川県交通安全対策協議会総会」が開催されました。

総会では、3年間以上連続して交通事故死者数を「ゼロ」に抑止した市区町村交通安全対策協議会(5団体)など、表彰基準に基づいて昨年の交通事故防止をはじめ、地域の交通安全活動に多大な功労のあった市区町村協議会と団体(合計25団体)に黒岩会長(県知事)から感謝状が授与されました。

交通安全部会、交通施設部会、踏切対策部会、暴走族部会及び高齢者対策特別部会の部会長やその代理者から、それぞれの平成28年度神奈川県交通安全対策協議会事業報告があり、読んで平成29年度神奈川県交通安全対策協議会事業計画案に対する一括審議が行われ、いずれも了承されました。

交通安全県民運動事業計画については、「第10次神奈川県交通安全計画」初年度である昨年の成果を踏まえ、年間スローガン、重点、年間運動、各季の運動等については、ほぼ昨年どおり取り組むこととしています。



～ 平成29年神奈川県警察年頭視閲式 ～

平成29年の年頭に当たり、警察職員の規律を正して士気を高め、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた県警察の意気込みを広く県民に示し、警察行政に対する理解と協力を得ることを目的として、1月18日(水)、県警察本部第一機動隊において開催されました。

部隊巡閲に続いて、儀仗隊を先頭に音楽隊、機動隊などの徒歩部隊のほか、白バイやパトカー、警護車、機動隊特殊車の車両部隊、警察官約1,000人、車両72台、警察犬5頭が堂々と分列行進を行い、空からはヘリコプター2機が参加しました。

視閲官である島根警察本部長の訓示、黒岩神奈川県知事など来賓の祝辞をいただいた後、神奈川県警察歌を力強く斉唱し、式典は終了しました。

式典後行われたアトラクションでは、今年は、白バイに加えてパトカーが加わり、第一交通機動隊米川隊長指揮のもと、分列行進の中で見事な隊形変換が行われました。テクニカル走行では、音楽隊の演奏に合わせて「全国白バイ安全運転競技大会」で2連覇した高度な技術を持つ白バイ隊員による追い越し走行、8の字走行、更にはパトカーによるバックスピターンが披露された後、白バイ10台、パトカー6台のコラボによる息の合った華麗なスラローム走行が披露されると、その運転技術と迫力に招待者や見学者から盛大な拍手と歓声上がりしました。



交通事故の悲劇に学ぶ ④

●「犯罪者となってしまって」(無線技士:43歳)

私は、雪の降る寒い冬の夜に過ちを犯して犯罪者となってしまいました。当時の私は、職場の駐車場の都合もあって、バスで通勤しており、自動車を使うのは休日か、平日であれば仕事を終えて買い物に行く程度でした。

その日は帰宅するのが遅かったこともあり、買い物を済ませた後、スーパー銭湯に行くため、自動車を運転していました。普段はあまり通ることのない道路でしたが、対向車もなく、交通状況が閑散としていたため、漫然と運転してしまいました。また、雪のため、車道と歩道の間には高さ2mくらいの壁があり、「車道に人がいることは無いだろう。」という自分に都合の良い勝手な思い込みもありました。

しかし、路上には被害者の方が倒れていたのです。雪で視界が良くなかったこともあり、発見が遅れました。また、被害者の方が路上で倒れているとは思いませんでした。

最初は「何だろう。」と思い、減速しました。そして人が倒れていると判り、急ブレーキを踏んでハンドルを切り避けようと思いました。

しかし、雪により道幅が狭くなっており、車を寄せ切れなかったことや、急ブレーキをかけるのが遅かったため、起き上がりようとした被害者の方をはねてしまったのです。私はすぐに車を止め、倒れている被害者の方に駆け寄りました。

被害者の方は身動き一つせず、呻き声すら発していませんでした。私は「人を殺してしまった。」と思いました。その後のことはあまり良く覚えていません。気が付いた時には車を運転し、事故現場から逃走していました。今にして思えば「人の命を奪ってしまった。」という現実を受け入れられず、現実から逃れたい気持ちで逃げてしまったように思います。

しかし、私が事故の直後に「もう亡くなってしまった。」と思った被害者の方はまだ生きておられました。その後、通行人に発見され救急車で病院に運ばれたものの、懸命な治療もむなしく、翌朝息を引き取られました。私は被害者の方に重傷を負わせ、雪の降る寒い中に放置してしまいました。亡くなった被害者のご無念は察して余りあります。

事故後、「早く自首しなければならない。」と思っていましたが、なかなか決心が付きませんでした。ある日、職場に警察の人が来て「交通事故のことでお話を聞きたいので、警察署の方に来て欲しい。」と言われ、警察署に行き、取調



イラストは本文とは関係ありません

べを受けました。取調べで事故のことを話し、そのまま逮捕となりました。

私の逮捕後に、職場の上司や両親が、弁護士さんと一緒にご遺族に謝罪に行ったと聞いています。私の両親に対してご遺族の方は、「あなた方が事故を越こした訳ではないですから。」とおっしゃったそうです。

裁判では、懲役2年2月の判決が出されました。私は、「どのような判決が出て、それに従う。」と決めていましたので、控訴は考えていませんでした。

私の事件は、死亡ひき逃げ事件ということもあり、地元ではテレビ、新聞で大きく報道されたようです。また、新聞の全国紙にも載ったと聞いています。その影響で父は仕事を辞め、近々引越す予定と聞いています。また、心労のためか母は体調を崩して入院してしまいました。私の勤務していた職場も影響を受けているようです。私の起こした事件により、私の家族や、お世話になった職場にも迷惑を掛けることになってしまいました。

私は、被害者の命、人生を奪ってしまいました。ご遺族の方の人生も大きく変えてしまいました。この罪は今後どのようなことをしても決して許されることなく、また、償いきれるものではありません。被害者の方には私の死後、お詫び申し上げるほかありません。

刑務所の中でしっかりと自分を見つめ直して反省し、社会復帰後は、「私は事件の後、こう生きて来ました。」と言えるよう、精一杯努力して生きて行きたいと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第51集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株) 武田商店 ————— 東京都渋谷区恵比寿西
- (株) サンエーサンクス ————— 高座郡寒川町
- サントリービバレッジサービス株式会社 ————— 東京都新宿区荒木町



鶴見交通安全協会
会長
東海林 昭市郎さん
しやうじろう



鶴見交通安全協会は、昭和22年、当時の自動車組合が主体となり、現協会の前身である「交通安全協会」として発足しました。その後、鶴見警察署や関係機関・団体の皆様方のご支援により昭和23年5月に「鶴見交通安全協会」と名称を改め、さらに本格的に各種交通安全事業を展開してゆくため、昭和39年に鶴見警察署に事務所を移転し現在に至っております。

東海林会長は、昭和5年山形県西村山郡で「植山節孝」のモデルになったとも言われる植山に生まれました。「昭市郎」という名は「市場で羽ばたくように」という意味を込めて当時警察官だった伯父につけていただいたそうで、本人は大変気に入っているとのことがあります。小学校へは、裕福な母親の実家から通い、当然のごとくガキ大将であったとのこと。大東亜戦争がはじまり、父の仕事の関係で鹿児島県の指宿に転居した時、「お前は、お国のために死んで来い」と父に言われ指宿航空隊の海軍飛行予科に入りましたがヘルニアと診断され除隊。その後

仕事の関係で、横浜市鶴見区に転居しました。鶴見では空襲に耐えて終戦を迎え、20歳になって自動車会社に入社しました。この時すでに、将来、日本は自動車の時代になるに違いないと、心に刻んだそうがあります。そして昭和34年には、運送関連事業の会社を創業し経営に手腕を発揮し、事業を拡大して今日に至っております。

創業当初から「運送業界は、

公の道路を使わせていただいているのだから、どこかで地域の方々に迷惑をかけているかもしれない。何かで恩返しをしなければいけない。」との思いで昭和45年に当協会の理事として協会の運営に参画されたのを機に数々の交通安全活動等の推進役として活躍され、昭和61年5月から、およそ30年にわたり会長職を努め、現在に至っております。その間には、平成12年、横浜市交通安全協会の会長、神奈川県交通安全協会副会長の職を歴任して、現在も神奈川県交通安全協会評議員の委員長を務めております。さらに、その他の関係団体等の役員としても

活躍するなど、企業活動を推進しながら市民としての感覚で社会活動に参画され、交通ボランティア活動を行っております。こうした地道な活動が認められ、神奈川県警察本部長表彰、警察庁長官表彰をはじめ、全日本交通安全協会から緑十字金章を受賞、平成14年には、勲五等瑞宝章受章の栄に浴されるなどの経歴をお持ちです。

最近の交通事故について思うことは、相手を思いやり、相手の立場に立つて考える心が失われて、世の中の乱れにつながっているような気がして嘆かわしいと感じているとのこと。事故は気の緩みです。普段から注意意識を常に持つこと、例えば黄色信号を止まることという意識は当たり前だと考えることだそうです。

八十八の米寿が間近で、健康の秘訣について尋ねると、健康管理は自分で、早寝して暴飲暴食しないこと。内臓をいたわることだそうです。益々健康な会長、いつまでもお元気です！

(取材協力：鶴見交通安全協会)

こんにちは

「(一財)横須賀交通安全協会」です

横須賀交通安全協会は、昭和15年3月に「横須賀交通報告会」として発足しました。昭和33年4月に初めて警察の庁舎内に間借りし、その後、昭和54年4月に同敷地内に事務所を建設しました。数年前、警察庁舎が老朽化したことなどから新港町に新築移転する運びとなり、これに合わせて協会事務所も移転を余儀なくされました。警察署は平成27年7月4日に移転、協会も約1年後の昨年6月25日に新しい事務所に移転しました。

横須賀交通安全協会の活動の歴史には、昭和23年に「中央駅前や汐入地区に歩行者の統制を図るため、鉄製誘導柵(ガードレール)を設置した。」、昭和32年に「免許証関係書類作成のサービ

ス事務として特殊会員制を定め、入会者に対し各種申請書の代行手続きを行う。会費3年間200円」、昭和37年に「市有地1,000坪を借用して、無免許運転による事故防止のための簡易自動車練習場を設置した。」などがあり、当時の交通事情を垣間見ることができます。

横須賀市の人口は、平成元年の約43万人をピークに、漸次減少し現在は約40万人です。また、管内の免許人口も平成18年には109,000人余でしたが、現在は106,000人余と減少傾向にあります。居住人口や免許人口が減少している中で少子高齢化がますます顕著な昨今は、高齢者の交通事故遭遇が増加しています。平成27年中の管内の交通事故犠牲者は7人でしたが、このうち70歳以上が5人と如実に現れています。

昨年の犠牲者は1人で推移してい



たところ、報道等でご案内のとおり年末に駐車場からの転落事故が発生、3人が犠牲となり計4人となりましたが、前年からみると減少しました。これも警察をはじめ市や交通関係諸団体、市民の皆さんの様々な交通事故防止活動の賜物であります。全体的に交通事故が減少している中、これからも高齢者など交通弱者に対する交通安全を重点とした活動に取り組んで参ります。

(千葉 記)

地区交通安全協会の活動紹介



(一社)南

区役所から横浜橋商店街にかけての各交差点等において、「飲酒運転根絶」のぼり旗や「歩行者横断禁止」のぼり旗やハンドプレート掲げて交通安全を呼びかけた。



保土ケ谷

交通事故多発路線対策として、朝の通勤時間帯に国道16号で、「速度注意」等のハンドプレート掲げて、事故防止を呼びかけた。



(一社)麻生

「ダメ飲酒運転」「スピード注意」などのハンドプレート掲げ、ドライバリーにチラシ等を配布しながら飲酒運転根絶、安全運転などを呼びかけた。



藤沢北

のぼり旗掲げ、「ハンドキーパー運動の実践」ティッシュ、ポスターを配布しながら、湘南台駅前飲食店を訪問し、飲酒運転根絶を呼びかけた。



秦野市

浜沢駅前で飲酒運転根絶を呼びかけるとともに、飲食店を訪問してハンドキーパー運動の実践を呼びかけるなど飲酒運転根絶キャンペーンを展開した。

磯子

京急杉田駅前において、警察署や交通関係団体とともに駅利用者等に交通安全防止を呼びかけ、幼稚園児40人の可愛らしい合唱が通行人を魅了した。



戸部

高齢者事故が多発していることから、警察、母の会と協力し、反射材を配布しながら高齢者家庭を訪問して事故防止を呼びかけた。



宮前

「飲酒運転根絶」のぼり旗掲げ、違法駐車パトロールを兼ねて飲食店を訪問し、違法駐車及び飲酒運転の追放を呼びかけた。



逗子市

JR逗子駅前銀座通り商店街の飲食店を訪問し、ダイコンとミニ提灯を配布して「飲酒運転根絶」、ハンドキーパー運動を呼びかけた。



大磯地区

買い物客の多いスーパー店舗前で「飲酒運転追放」や「飲酒運転根絶」のぼり旗掲げ、チラシなどを配布しながら家族連れなどに呼びかけた。



インフォメーション

- 優良職員表彰式 ————— 3月2日(木)県協会会館
- 第20回理事会 ————— 3月2日(木)県協会会館
- 交通指導員連絡会議 ————— 3月3日(金)県協会会館
- 表彰審査委員会 ————— 3月10日(金)県協会会館
- グッドライダーミーティング ————— 3月11日(土)運転免許試験場